

呉線における車両トラブルの原因と対策について

2026年7月15日に呉線 水尻駅構内で発生させた車両トラブルについて、原因が判明しましたので対策と合わせてお知らせします。

お客様にご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めます。

1 発生日時

2026年7月15日（水） 2時26分頃

2 発生場所

呉線 水尻駅構内

3 概 況

7月15日（水）2時26分頃、広島指令所の指令員は水尻駅構内において保守用車を移動させようとした際に、ブレーキ操作後に走行不能となった旨の連絡を受けました。現地に係員を派遣し、復旧作業を行った影響により、列車の運休や遅れが発生しましたが、6時56分に復旧作業が完了し、当該保守用車の収容が終了したため、8時00分に運転を再開しました。

4 列車影響

＜運 休＞36本（下り 19本 上り 17本）

＜遅 れ＞43本（下り 25本 上り 18本） 最大303分

＜影響人員＞約15,000人

5 主な原因

保守用車のブレーキ装置において、部品の一部が劣化により不具合を生じ、ブレーキの解除機能に支障をきたしたため。

6 対 策

保守用車のブレーキ装置に関係する部品について点検項目を見直し、定期点検時に調整および確認を実施します。